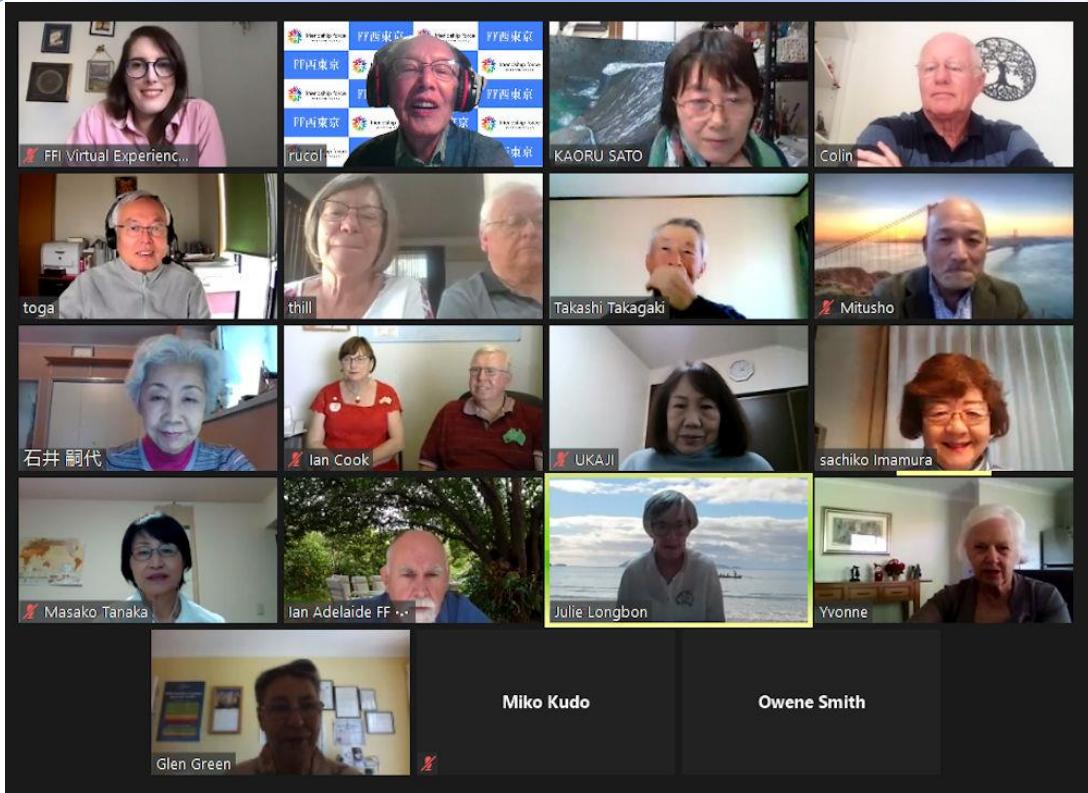




豪・パースクラブとのVirtual Journey



Zoomの様子

・総括報告と感想

高垣 孝

2020年7月初めオーストラリアのパースクラブから日本のクラブとVirtual Journeyを行いたいという提案がありました。そこで、前年に同クラブを渡航した西東京クラブは、役員会及びクラブミーティングで協議し、参加することを決定し、先方も受諾。初めての体験なので、先方と準備会合をZoomで7月末に持ち、西東京クラブがZoomによる受入のプレゼンテーションを9月初めに行うことで合意しました。

これを受け西東京クラブは役員に数名の会員を加えて、実行委員会を設立。委員の皆さんで検討した結果、石井健二さんから提案のあった資料をベースに、鎌倉観光は富長さん、箱根観光は田中正子さんの作成資料を加えて、プレゼンを行うことに。タイトルは「Welcome to Western Tokyo Club」とし、右記のように、英語のナレーターも記載の方々に割り当てることが決まりました。

2020年9月9日（水）15:00～
Virtual Journey

<プログラム>

- | | |
|--------------|--------|
| ・Zoomホスト（司会） | 高垣 孝 |
| ・両クラブ会長挨拶 | |
| ・メンバー自己紹介 | |
| ・クラブ紹介 | 山本 敏雄 |
| ・受入プログラム | 戸ヶ崎 正次 |
| ・東京観光紹介 | 石井 健二 |
| ・横浜観光紹介 | 宇梶 淑恵 |
| ・鎌倉観光紹介 | 富長 健治 |
| ・箱根観光紹介 | 田中 満穂 |
| ・Q&A、自由トーク | |
| ・次回企画、イベント | |

9月9日の本番の詳細は公開のZoom録画を参照していただくことにして、ここではホストとして感想を述べます。

西東京クラブ参加者16名、パースクラブ参加者15名で盛況でした。両クラブの自己紹介で、Zoomの場合は西東京クラブのように、本人が声を出して手を振る方が、本人確認ができた分かりやすいことが分かりました。ホストとしての司会は私自身、反省点が多くありました。各プレゼンは英語も含めてそれぞれ特長・個性があり、変化に富んでよかったです。自由トークになると、やはり英語力の差もある上、多人数がZoomで1度に話をするのは無理があり、今後はブレイクアウトセッション（分科会）による少人数のグループ分けをして、フリートーリングする場も提案したいと思います。

まずは実行委員会及び参加者の皆様のご尽力とご協力により、先方会長からも素晴らしいプレゼンだったと感謝メールがありました。また録画を見た方々からも好評を得て、慣れない初めての体験を無事終了したことを、厚く御礼申し上げます。

・初めてのVirtual Journey

山本 敏雄

最初はどのようなことをするのか全く判らないまま会議に参加しましたが、何回か打ち合わせを重ねていくうちに、これは面白い企画だとだんだん思うようになりました。もちろんVirtual Journey自体が面白いのですが、これを受入や渡航クラブとの間で行えばさらに興味深いものとなると思い始めました。

これまで受入や渡航では、事前に個別での情報交換はありました。クラブ全体の生い立ちや環境を知らないままにマッチング当日を迎えたわけです。しかし、今回のように空港やホストの所在地の立地がどうになっているかとか、近隣の観光地の見どころとかを全員で共有することはこれから始まるJourneyの楽しさを倍増させるような気がします。それに加えて、事前にクラブ全体の顔と人となりが認識できることにより当日がより待ち遠しく感じることでしょう。

・受入活動プレゼン

戸ヶ崎 正次

西東京クラブでは今まで色々な受入活動をしていたのが良くわかります。それらの説明はどうやって興味を持って頂けるか考えて、何とか英語でやってみました。

当日のZoomミーティングではパースの方々の英語はほとんどわからない状態で、あちらの反応も全く分からず手探り状態で行いました。日本の文化に関わることなので誤解のないように上手く英語圏の方に伝えるのは語学以上のものが必要ですね。

Club Introduction, 2020

Name: The Friendship Force of Western Tokyo

Founded on January 17, 1989

Location: Originally Founded in Machida city, Tokyo

President: Mr.Takashi Takagaki

Secretary: Ms. Sachiko Imamura

Members: About 40 members in Machida & surrounding cities

Journey: One inbound and one outbound journey per year

Example in 2019 : Inbound, FF Greater Orlando, USA (Nov)
Outbound FF Perth, Australia (May)

Airport : Narita Intn'l Airport or Tokyo (Haneda) Intn'l Airport

Home page : <http://ffw-tokyo.org/wp>

Club Introduction



受け入れでのホームコンサート

私の担当は東京観光でしたが、横浜、鎌倉、箱根を含めて、いずれも、発展の歴史的背景、経緯を知って頂くと、興味・関心が深まるのではないかと考え、冒頭、駆け足で日本の歴史を紹介させて頂きました（拙い説明でどれほどご理解頂けた？ではありますか）。案内スポットは数ある中から、皇居（二重橋）、千鳥ヶ淵（桜）、新オリンピック競技場、明治神宮、浅草（雷門、仲見世通り、浅草寺）、都庁、小石川後楽園、と江戸東京博物館に絞りました。



千鳥ヶ淵

これら、自身の知識の確認、見直しになりましたので、今後、実践で生かしたいと思っています。準備を進めるなかで、自治体、団体、協会、観光事業が発信する、また個人的に有しておられる写真、動画、冊子等有用な各種の資料を見つけることが出来ました。これらは今後の往来を伴う交流や、バーチャル交流での利用のほか、新会員へのオリエンテーション、新会員リクルート活動などにも活用できると思われ、有意義でした。コロナ禍の収束が見通せない現状もあり、オンラインでの打ち合わせや交流は今後とも重要です。そのために、PC等電子機器、ソフトの更新が必要な場合があるかもしれません。また、Zoomなどオンラインソフト利用スキルの慣れも必要です。一方、顔を合わせての打ち合わせや交流時の往来の手間、費用を省けるのはメリットです。また、楽しみながら英会話力や度胸を身に着けることも出来ます。

・横浜名所プレゼン

今回、横浜の名所巡りのプレゼンテーションを担当させて頂きました。準備は大変でしたが良い経験になりやって良かったと感じています。普段、自分が暮らしている町ですが、外国の方に紹介する為に改めて調べてみるとその場所の成り立ちなど、新しい発見もありました。そして、それをプレゼンテーションとして英語で人に伝えることは、普段の会話と違う形で語学の勉強になると言う気づきがありました。

どの地域にも、興味深いスポットがいくつもあります。複数のメンバーで細かく分担して調査して紹介するようにすると、一つ一つの名所をより深く調べる事が出来、調べた内容、新し発見をメンバー同士でも共有でき、外国の方にも興味深く聞いていただけたのではないかと感じました。



みなとみらいビル群

鎌倉については名所4ヶ所（鶴ヶ岡八幡宮、高徳院の大仏、長谷寺、建長寺）と鎌倉文化の代表である鎌倉彫の紹介を行いました。

鎌倉は地域が狭いこと、観光地であり英語を含めいろいろな情報が溢れているので比較的資料収集は容易でした。市の案内画像やyou tubeの動画を活用しました。その際に役立つのは画像や動画の切取りソフトです。日頃からNPO活動でも使用していますが、無償のものもあるのでその活用を是非お薦めしたいです。

英語の音声動画をそのまま使うことも考えましたが、自分の発音箇所との落差が大き過ぎるので総ての資料を肉声で読み上げることにしました。もうひとつ、ビデオ会議システムZoomに慣れていないので2台のPCを用いて相互に送受信し、特に資料の共有・映像発信状態などを確認しながら、何とか役目を果たし終えました。



鶴ヶ岡流鏑馬

• パースクラブへのプレゼンを振り返って（箱根案内）

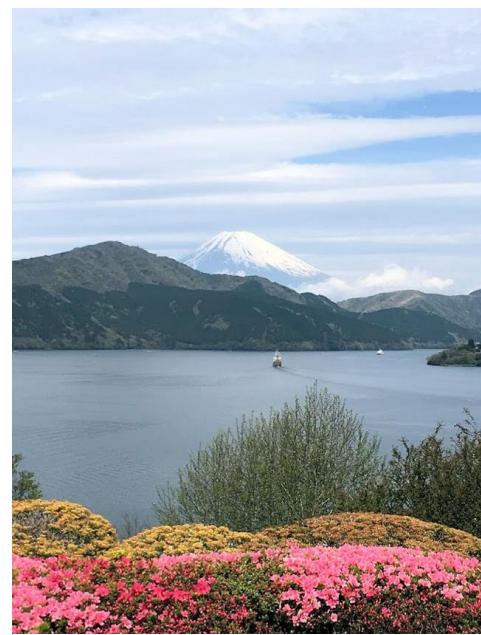
田中 満穂

2020年9月パースクラブと西東京クラブとのVirtual Journeyは、コロナ禍のなか初めての試みでした。西東京メンバーの頑張りで初めてのトライにしては大成功であったと感じました。

西東京クラブのメンバーが住む町や環境の紹介、その他の周辺観光地の歴史文化の紹介など、今後FFメンバーが来日してくれた際に案内したい場所、文化紹介など概ね説明できたと思います。今後この種の資料は、ネット上の写真を使うのではなく、各自が自分で撮った写真を反映させればもっと良いのではと思います。次にまたVirtual Journeyがあれば、他のクラブにプレゼンしていきたいです。これらのPPファイルは西東京クラブのアーカイブとして保存し、メンバーの誰もがこのような機会にそれを使って紹介できたら良いと考えます。



芦ノ湖の遊覧船



箱根恩賜公園

12月2日午後3時からパースクラブとの3度目のVirtual Journeyが始まりました。

今回はパースクラブの主催ですが、アルバニークラブからの参加者もあり、先方からは10名、西東京からは12名のメンバーで行われました。

まずは10月末に行われたパースクラブとアルバニークラブとの国内交流のデモンストレーションです。27名のパースクラブの会員が南へ400キロ離れたアルバニークラブを訪問した時の記録を美しい映像と共にリレー形式で参加者が説明してくれました。国内での交流の為か、家庭での日常生活の紹介は無く、アルバニーの風光明媚な景観や歴史、オーストラリア独自の動植物の紹介、先住民族のアート等日本では見ることのできない珍しい光景に英語は分からずとも感嘆するばかりでした。アボリジニーの一つ、ヌンガーブ族の描いた壁画の前で歓迎を受けていたパースクラブのメンバーの着ていたお揃いの赤いベストに結束力とパワーを感じました。

その後はQ and Aになりました。グループ分けをする間もなく次々と質問が出ました。土壌の色、穀物の種類、捕鯨の後の産業等、又特にアボリジニーについての質問が多数を占めました。アボリジニーは350種の言語を持ち、政府はアボリジニー独自の文化や風習に理解を示し、独自の大学も作ったとの事。先住民族とは友好的な関係を保っているようです。

今回もVirtual Journeyは和気あいあいの中で幕を閉じました。



・クラブ総会と新年会

FF西東京クラブの2020年度総会・新年会が2月1日（土）の昼時、ホテル町田ヴィラにて開催されました（司会：虫明副会長、議長：加藤健治会員）。当日は天気に恵まれ、人々の方々、生後6ヶ月のお子様づれの会員さんを含めて、出席者は総会37名、新年会34名と過去最多の盛況でした。

高垣会長は冒頭のあいさつで、交流活動や各種イベントへの各位の一層の参画を呼び掛けると共に、IT関連機器、ソフトの更なる利用を要請しました。

次いで議事に入り、まず2019年度の活動・会計報告が、担当の役員等からなされ、若干の質疑の後、了承されました。続いて2020年度の渡航・受入・イベント等の活動予定、予算が提案され、質疑の後、案どおり承認されました。

最後に、本年度役員等選任の議事に移り、現在の高垣孝会長、虫明陽子副会長、事務局の今村佐知子さん、八塚住子さん、宇梶淑恵さんはそれぞれ留任。新たに副会長に山本敏雄さん、会計には鈴木澄子さん、永田末子さんが選任されました。ほか、顧問の佐原泰子さん、会計監査の北川賀子さん、田中正子さんです。

係は、イベント、広報（会報、ホームページ）、オリエンテーションに加え、新たにIT係（情報技術支援）を設け、会員のスキル向上に当たって頂くこととしました。ご担当は戸ヶ崎正次さん、富長健治さんです。

また、総会後のフリー討議の中で、クラブ統一ユニフォームの制作の提案がなされ、具体化を新役員会で検討頂くことになりました。



・新会員紹介

寺田 由実

寺田彰弘・由実

こんにちは。

主人の仕事の関係で山梨に長く住んでいましたが、2019年、主人の実家からも近い南つくし野に引っ越してきました。寺田彰弘、由実です。まだ学生の子供が2人おります。道が広い、人がいい、緑も多い、買い物も便利な街でとても気にいっていますやっと少しずつ慣れてきたところで入会を希望いたしました。

主人はエンジニア、私はインテリアコーディネーターをしております。

様々な人々との触れ合いを少しでも増やして、様々な考え方、様々な文化にも触れることが出来ればと考えております。

宜しくお願い申し上げます。



・虫明陽子副会長を悼む

高垣 孝

去る6月16日虫明陽子副会長の訃報を受けたとき、病状について知らされていた私は覚悟をしていたつもりでしたが、頼りにしていた片腕を失った喪失感で、大きなショックを受けました。彼女の入会から今までの10年余りを振り返ると、クラブの活性化にどんなに貢献したか、あらためて思い出されます。

最初から渡航・受入を始め、全てのイベントに先頭に立って、それも楽しく参加していました。ここ3年半は副会長として、私も随分助けられました。日本大会、ブロック会議等にも積極的に参加され、西東京クラブの存在を高めてくれました。特に2018年の山梨クラブ主催のブロック会議に、虫明さん他、計4名で河口湖の会場までドライブしたこと良き想い出となりました。



また彼女の最後の渡航となった2019年のパースクラブ渡航では、私に代わってクラブ代表のスピーチを立派にやり遂げたと聞いています。隅々まで気配りのできる方だったようで、時にはやり過ぎとの声もありましたが、持ち前の明るい性格がそんな声を吹き飛ばしてくれました。病身の中で、いろいろご活躍して下さったことを感謝すると共に、無理をされたのではないかと申し訳なく思っています。

今は安らかにお眠り下さい。本当に有難うございました。

・虫明陽子さんの思い出

加藤 幸子

2017年4月ケベック受入を見送った直後、ご苦労様コールの最中に「お腹の具合が」と言って電話を切った翌日、入院の知らせをお嬢様から頂きました。まさか3年後に命尽きるとはいったい誰が想像出来たでしょう。

1年間の抗癌治療を経て余命の宣告を受けた陽子さんはその治療を断って残された命を大いに楽しむ決断を選びました。18年8月にドイツ、19年5月にパースへ渡航と精一杯エンジョイした生き様は見事というより他はありません。

桜の咲き始めた昨年の4月、世間はコロナ騒動で慌てふためいていた頃、外出が無理になった陽子さんから「おしゃべりがしたいから来て、来て」のお誘いがありました。コロナを恐れていた私達は「コロナなんて怖くない」と言う彼女の言葉にランチ持参でお邪魔し、夕方迄おしゃべりしまくりました。特にFFでの渡航・受入の話題になると身を乗り出して、目を輝かせて時の経つのを忘れる程でした。おしゃべりは最高の薬だったので。「あら、もうこんな時間?」と言いつつ、次に会う日を決めて帰るというパターンが何度も続きました。

その間一度も彼女から愚痴を聞く事はありませんでした。何時も前向きにプラス思考で、励まそうと出向く私達が逆に励まされている感じでした。お世辞抜きに素晴らしい人でした。

今思えば、陽子さんの暖かい、ちょっと乾いた温もりの手を握りしめながら、「じゃー又ね」「又来てね」これが陽子さんと交わした最後の言葉になってしまいました。安らかに眠るように遙かな国へ旅立たれた陽子さんのお花にうずもれたお顔は美しすぎました。

・クラブシャツ作成

FF西東京クラブ発足30周年記念事業として一昨年、祝賀会、会報特集号発刊、DVD及びクラブバナースタンド制作しました。

昨年は、新たに添付写真の素敵なクラブシャツが出来ました。

総会での提案、役員会検討を経て、具体化チーム（野村美菜子さん、竹田敏子さん、北川賀子さん）で委託先、商品、デザイン（地色、FFロゴ、商標）など詳細を検討。

6月中旬には完成し、会員に無償配布されました。コロナ禍のなか、面倒なお手配下さったご担当各位に感謝します。

受入やイベントで皆で着て楽しむ機会の早からんことを祈ります。



お知らせ

<2020年>

■12月21日（月）Zoom
忘年会

<2021年>

■2月7日（日）Zoom
総会・新年会
■日時・場所未定
関東ブロック会議（西東京クラブ主催）
■渡航、受入、イベント、日本大会は、
新型コロナウイルスの流行が未だ収ま
っていない為、未定。



編集後記

思いがけずも、昨年は早春から新型コロナウイルス感染症の世界流行が起きたため、殆どの活動は中止せざるを得ない状況が続きました。年後半には準備と試行を経て、Zoomによる交流やミーティングを導入。豪・パースクラブとVirtual Journeyを実施すると共に、役員会、クラブ会合、更に忘年会もZoomで行うなど、活動内容はデジタル化社会にふさわしく様変わりしました。Virtual Journeyでクラブ紹介と観光案内を英語で実施したのは今後の交流に向けてよい経験になったと存じます。一方、国際交流をこよなく楽しみ、明るい人柄でクラブの運営にも大きく貢献して来られた副会長、虫明陽子さんが病で他界されるという悲しい出来事もありました。

本会報はこうした出来事を記録し、今後にいかすべく編集しました。私事ですが小生、2017年から4年間編集に携わらせて頂きましたが、新年度の役員等新体制を機に担当から降ります。後任はこれまで役員として事務局を担当下さいました八塚住子さんです。これまで原稿執筆下さいました各位、デザインと校正で支えて頂きました中川貴文さん、戸ヶ崎満里さんに感謝し、併せて会報が有用で親しみもある情報源であることを祈ります。

（石井健二）

娘の保育園でコロナが出てPCRに連れて行った、例によってなんとなく時代を先取りしている中川です。コロナ禍の自粛、皆様どうお過ごしでしょうか？私はプラント建設が遅れて、てんやわんやしております。Virtual Journeyなど新時代に先駆けた素敵なおイベントがあったようです。早く交流ができる、こんな時代もあったねといつか笑える日が来ることを願っております。

（中川貴文）

発行日：令和3年1月 第32号

発行者：ザ・フレンドシップフォース・

西東京

町田市つくし野4-29-17

Tel/Fax 042-796-6797

ホームページ：<http://ffw-tokyo.org/wp>

担当：西村千織、石井健二